

ECHIGO ICHI



一般社団法人 新潟県建築士事務所協会

越後
一会

Vol.

22

2016.
SUMMER

会長 挨拶・抱負

事業方針と各担当委員会

新入会員・自己紹介

連載工ツセイ第五話



(一般社団法人)
新潟県建築士事務所協会
会長 坂本 忠志

会長ごあいさつ

これまでの1期2年は、業務報酬の適正化を盛り込んだ改正建築士法が施行され、関係官庁に要望活動をしてまいりました。また、協会の念願でありました「開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会」も、知事指定を受けることができ順調に事業展開を図ってまいりました。これらの事業を軌道に乗せることが出来たのも、理事をはじめとした各委員会並びに会員各位のご協力の賜物と感謝申し上げます。行政機関に対しましては、引き続き要望活動を行ってまいります。残念なことに、いまだ低価格入札が行われており、モラルの低下が懸念されます。会員皆様におかれましては、更なるご協力をお願い申し上げます。これから2期目に入るわけですが、大きな柱の一つでもあります後継者育成及び若手の発掘事業に力を入れていきたいと考えております。昨年末から準備しておりました「にいがた未来の建築担い手育成事業」(出前講座)が7月より具体的に動き始めました。高校に向き主に2年生を対象に「世界の建築」「新潟の建築」を紹介、「物事の本質を知ってこそ、新たな創造が生まれる」、「仕事のやりがい」も不可欠の要因と著書を紹介しながら講演していきます。当面は私と業務・技術委員長で講師を務めていきますが、その後は若手会員を講師に据えることにより、協会の後継者育成につなげたいと思っております。さらに、新潟工科大、長岡造形大への出前講座も考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、高校生のインターンシップ、出前講師募集には多くの方々からご協力をいただきましたことに、改めてお礼と感謝を申し上げます。

出前講座実施報告 にいがた建築担い手、育成講座

先々号(20号)の紙面ににて構想をお知らせ致しました学校訪問活動が実施されました。本年は県内の建築系学科の高校生を対象とし5校を訪問する計画で、既に7月中旬に4校での講座を実施済みですが、この記事を通じて皆様に活動をお知らせするため、7月6日の新潟工業高校への訪問に同行致しました。丁度この日の講座には新聞社の取材も入り、既に新聞でも報じられておりますのでご存じの方もおられると思いますが、当日の講座は建築コースと設備コースの2年生約80人を対象に2部制形式で行われました。対象が建築系の高校生という事で、普段彼らが使っている教科書に載っていない事例を紹介する形で、第1部は坂本会長が著名な作家や建築家を題材に日本人の美意識やこだわりなど日本独特の感性について講義を行いました。第2部では業務・技術委員会の羽二生委員長が国外の名建築から県内のナミックスやアオーレ長岡、関川村の渡邊邸など多岐に渡って紹介し、建築物を通じた町づくりや建築の魅力について講義を行いました。どちらの講座も学生は熱心に聞き入っており、古くから残る建築物や新しい建築の魅力やその根底にある美意識など、いつもの授業とは違った視点での建築の魅力を感じとってくれたようです。建築業界での職業は非常に多岐に渡っている半面、学生には具体的なイメージが付き難い面もあるかと感じています。こういった活動を通してこれから社会に出る学生達に建築に対する興味を深める機会を持ってもらえる事を大いに期待しています。

(広報・組織副委員長 石渡光輔)



平成28年度 事業方針と各担当委員会

総務・財務委員会	委員長	鈴木 正二
実施事業全般の精査、検討		
全国大会参加企画運営		
県等との意見・情報交換の検討		
事務所と協会の後継者育成強化の検討(次世代交流会)		

業務・技術委員会	委員長	羽二生 道夫
建築士事務所の管理研修会の開催(2会場予定)		
建築士定期講習の開催(定員増員50名)		
スキルアップセミナーの開催(分野別:設計力、経営力、まちづくり、現場見学)		
その他講習会の企画開催(適合証明技術者、被災度区分判定など)		
建築士の後継者育成(出前講座ほか)		

広報・組織委員会	委員長	櫛井 弘
会員拡大活動		
協会活動PR(広報誌の企画制作)		
建築キャンペーン事業の実施(リフォームフェアでの協会PRと住宅相談対応)		
法改正等情報の公開(HP活用広報:事務局)		

指導委員会	委員長	櫻井 準治
住宅相談広報の検討(HP、パンフレットの作成)		
住宅相談の対応		
リフォームフェアでの住宅相談の応援		

地震対応特別委員会	委員長	梶井 照仁
耐震診断、耐震改修に関する住宅相談の応援		
既存建築物耐震診断等全国ネットワーク委員会情報収集		

賛助会員 協力・支援組織		
下越支部	新潟建築文化研究会会長	(株)たかだ 高田 政俊
中越支部	中越支部協議会会長	(株)池田組 池田 明彦
上越支部	同志会会長	(株)江口金属 江口 武

NEW FACE



お久しぶりです。小生、設備の設計事務所を営む涌井と申します。事務所名を「涌井電気設備設計室」といいます。10年程前まで協会に在籍していましたが、諸般の事情で退会し今回、改めて再入会した出戻りでございます。一般社会では定年退職を迎える年齢ですが、協会では先輩諸氏が大勢、現役で活躍されていることに刺激を受けて、若返りたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願いします。

涌井電気設備設計 涌井 勝治

連載エッセイ / 第5話 マツシマサトシ

修行で得るもの

寿司職人として一人前になるには、「飯炊き3年、握り8年」の修業が必要と言われるが、堀江貴文さんが、「今時、イケてる寿司屋はそんな悠長な修業はしない。問題なのは、職人としてのセンスであって、何年も修業するのはバカだ」とネット上で発言して、大論争に発展した。

堀江さんの意見はともかく、日本では「飯炊き3年」的な修業論が、あらゆる職人の世界で根強く語られている。それは、私たちが、修業の中身よりも、コツコツと努力を続けること自体に価値があると感じているからかもしれない。

もっとも、近ごろは、しばらくは皿洗いだけといった修業はなくなっているらしい。人を育てるのに、それほど時間をかけていられないという事情が背景にあるようだ。人手不足を解消するために、機械が寿司を「握っている」店もあるというから、自ずと修業の形も、店の形も変わっていくだろう。カウンター越しに店主のうんちくを聞きながら、盃を傾ける。そんなお店は、この先、少なくなっていくのかもしれない。客に向き合う店主に必要なものは、寿司を握る技術だけでないからだ。



日事連報告 ■全国会長会議・定時総会報告 (平成28年6月14日) ●報告事項:28年度実施要項

- (1) 建築士事務所の執務環境整備WGの中間報告
雇用・労働時間・報酬・多様な発注方式・教育環境・次世代育成等
- (2) 事務所キャンペーン事業実施要項
共通テーマ [信頼のあかし 建築事務所協会] 開催時期 できるだけ全国統一日
- (3) 共同要望運動の実施
業務報酬基準に準拠した契約
設計者の選定は価格以外の要素を考慮
設計者の選定は賠償責任保険への加入を条件
設計者の選定はCPD制度の実績を考慮
- (4) 建築士事務所全国大会(東京開催)の実施
青年話創会→講演→大会式典→記念パーティ
- (5) 改正土法施行後の単位会アンケート結果
- (6) 熊本地震への対応
対策本部の設置 4/18・情報収集・応急危険度判定士の支援
熊本会に義援金 100万円支援
建築住宅相談窓口の設置
日事連建築復興支援センターの設置 6/13

受賞作品介绍 平成27年度 第24回建築作品・新潟県賞

最優秀賞

(株)長建設計事務所(長岡市)
柏崎北条小学校



優秀賞

(株)高田建築設計事務所(長岡市)
Metamorphose



優秀賞

(有)三善建築設計事務所(新潟市)
学びの杜 沼垂小学校



第145回日事連・関東甲信越ブロック協議会 報告

第145回日事連・関東甲信越ブロック協議会が平成28年6月17日の暑さの中、群馬県の渋川市伊香保町にて開催されました。新潟会より坂本会長、村田副会長、吉田新局長、松田の4名が参加致しました。幹事会・栗原会長の挨拶から始まり、日事連副会長・佐々木氏より日事連事業報告がされ、最近の業界を巡る主な状況について居専専務理事より説明を受けました。各委員会報告後、新潟会より協議事項建築士定期講習会について説明があり、熊本地震の義援金報告が行われ、最後に次期幹事会栃木会佐々木会長の挨拶で閉幕となりました。翌日は日事連会長・大内氏も合流し、みなさんと一緒に『世界遺産 富岡製糸場』を見学しました。日本が世界各国に負けない思いで近代化に進もうとしたことや、若い女性が勉強して日本や地元の為に役に立とうと全国から集まり技術を習得していたことを思うと、富岡製糸場の歴史を考えさせられました。

副会長 松田 道佳



■講習会等インフォメーション

9月29日	(木)	ハイブ長岡	建築士事務所の管理研修会
9月30日	(金)	新潟テルサ	建築士事務所の管理研修会
10月7～8日	(金)～(土)	帝国ホテル	第40回建築士事務所全国大会(東京大会)
10月26日	(水)	新潟ユニゾンプラザ	建築士の定期講習
11月18日	(金)	ラマダホテル新潟	第4回 理事会

設計力・スキルアップセミナー

	新潟会場/新潟ユニゾンプラザ	長岡会場/フェニックス大手イースト	内容	講師
第1回	8月9日(火)	8月10日(水)	地熱・地下水を利用した冷暖房	(株)興和/(株)コロナ
第2回	9月13日(火)	9月15日(木)	ガスエネルギーサービス 断熱材からみたZEMの可能性	北陸ガス(株)熱源開発/旭ファイバーグラス(株)
第3回	11月8日(火)	11月10日(木)	BIMを用いた設計手法の最新情報	グラフィソフトジャパン(株)
第4回	12月6日(火)	12月15日(木)	ファシリティマネジメント	(公社)ファシリティマネジメント協会

新入会員のご紹介

正会員

6月末日現在の会員数/正会員324名・賛助会員183名

事務所名	開設者	住所	TEL	FAX
涌井電気設備設計室	涌井 勝治	〒950-0982新潟市中央区堀之内南1-31-1 第2江口ビル2F	025-245-9910	025-245-4570
若井設計	若井 和重	〒949-7135南魚沼市新堀新田190	025-788-1237	025-788-1238

賛助会員

事業所名	代表者	住所	TEL	FAX
二チハ(株)新潟営業所	河津 敏幸	〒950-0916新潟市中央区米山3-1-63 マルヤマビル7F	025-245-6528	025-243-5649
(株)ダイフレックス新潟営業所(中越支部へ)	塚本 祐一	〒950-0912新潟市中央区南笹口1-2-16 新潟C Dビル3F	025-365-3010	025-365-3011

賛助会員 協力・支援組織 挨拶



上越支部
同志会
会長 江口 武



中越支部
協議会
会長 池田明彦



下越支部
新潟建築文化研究会
会長 高田政俊

本年度より上越建築同志会 会長に就任致しました 株式会社江口金属 江口です。早いもので当会に入会させて頂きまして今年で10年目です。この節目の年に会長職を仰せつかり身の引き締まる思いでございます。毎回、本会の活動状況では出席率が非常に良いものでありますので親睦をより一層高めると共に「良い事はもっと良く」「目的を明確に素早く実行」「やり方を工夫して改善」以上の3点を常に意識しながら会員の皆様様より「人財」と思われるような役員活動をしていきたいと思っております。弊社も「技術者で在れ」をモットーに今年で創業170年を迎えました。その道のプロで在り続けるために真剣に取り組み、持続していきたい所存でございます。今後共、よろしくお願ひ致します。

昨年度より会長を引き受けさせて頂いて2年目に入り、やっと組織的なことにもなれてきたところです。昨年、坂本会長から投げかけられた、「賛助会員として何ができるのかをあらためて考えてほしい」という宿題に対して、会員同士、意見を交換しながら共に考えていきたいと思っています。今年度の活動としては、例年通りの企画であるハイキング(昨雨が雨天で中止となったため)を中心とした事業を計画しているわけですが、会員同士の親睦を第一に考え、その中に、建築士としての興味がわくような、スパイスを少しでもとり入れることができると考えています。

昨年は、私たち新潟建築文化研究会も活発に動いた年でした。正会員との親睦は登山、ランニング、釣り、テニス、スキーから麻雀にいたるまで、多くの方々から参加をいただき有意義な交流の時を持ちました。今年は上中下越の賛助会員代表が集い交流会を行い親睦を深めるとともに、総会終了時の講演会開催事業を企画展開しました。これからも様々な取組を計画しますので、みなさんの参加をお待ちしています。

あとがき

「越後一会」を刷新してから夏号も3回目となりました。これからも、より多くの協会活動報告等を載せて会員皆様にお知らせして行きたいと思っております。協会も総会が終わり新体制で出発いたしました。後継者不足や会員の減少など多くの問題をかかえています。これから益々会員相互の協力が必要になると思っております。これからも委員会として協会の広報誌、会員増強用ツールとしてのパンフレット作成を通して会員増強、協会のPRに努めてまいりますので今後共、ご協力の程よろしくお願ひします。

広報・組織委員長 榑井 弘

ECHIGO ICHIE

2016.SUMMER Vol.22



表紙写真
美人林
新潟にいがた観光ナビ提供

発行：平成 28 年 8 月
発行所：一般社団法人 新潟県建築士事務所協会
会長 坂本 忠志
編集：編集委員
委員長 榑井 弘
副委員長 石渡 光輔
副委員長 鷲頭 加思郎
委員 植木 厚祐
担当副会長 松田 道佳



一般社団法人 新潟県建築士事務所協会

〒951-8131 新潟市中央区白山浦1丁目614番地 白山ビル6F
TEL 025(265)4748 FAX 025(231)6553
URL <http://www.niaaf.or.jp/> E-mail kjk1523@niaaf.or.jp